

学校 教育 目標	しんけん なかよし だいすき ~ 全力で取り組み、力を合わせて、お互いに認め合う子どもを育てます。					
	主体的に取り組み、人とかかわりの中で、自分の考えを深め豊かに表現する子どもを育てます。【知】学力向上					
	自他のよさを見つけ、認め合い、夢や目標をもって生きる力を育てます。			【徳】心の教育		
	心身ともに健全で、楽しく安心な生活を実践していこうとする力を育てます。			【体】人間関係力		
学校 概要	創立 49 周年	学校長 関谷 道代	准校長	小学部	一般学級： 20 個別支援学級： 3	児童数 680 人
	2 学期制	副校長	安村 緑子	中学部	一般学級： 個別支援学級：	生徒数 人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもつ力</li> <li>自分の考えを表現する力</li> </ul>
心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分を大切にする力</li> <li>人を大切にする力</li> </ul>
人間関係力	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手意識をもって異学年とかかわる力</li> <li>地域に積極的にかかわろうとする力</li> </ul>

「9年間で育てる子ども像」と具体的取組	
人とかかわりや自他の思いや願いを大切にできる子どもの育成	
<p>新田中学校ブロック研究テーマに基づいて、年2回の公開合同授業研究会（1回目は6月中学校、2回目は小学校11月）を開催。小中一貫カリキュラムマネジメントの改善や児童生徒指導、学習指導の連続性などについての話し合い。それぞれの地域行事、学校行事を通して児童生徒の交流を図り、9年間で育てる子ども像を共有。児童生徒交流日には、中学校の授業の様子を見たり、興味のある部活動を参観したりするなどして、中学校に対する不安感を減らしスムーズな小中の接続。</p>	

中期 取組 目標	<p>創立50周年に向けて、学校教育目標の実現を地域とともに目指し、子ども、家庭、地域、教職員、関係機関が一体となり、6年間の教育活動に取り組み、児童の健全な育成、人間関係力を豊かにした魅力ある学校づくりを推進します。○主体的に取り組み、人とかかわりの中で、自分の考えを深め豊かに表現する子どもを育てます。○まちとかかわりを大切にし、地域や社会の中で共に支えあう力を育てます。</p>
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
ブ ロ ジ ェ ク ト	学力向上	○一部教科担任制により、学年のすべての子どもの学力を上げる責任をもって深い教材研究を目指します。低学年は、ベアクラスによる合同授業、中学年以上は学年の子どもの全体をとらえた子どもの実態を踏まえた授業力の向上に努めます。○主体的な学びになるよう、子ども同士の議論を主体とした授業への深まりを目指します。
	担当	重点研究会推進プロジェクト
	児童指導・子ども理解	○学年の児童指導ノートの活用を生かして、組織的な責任をもった児童生徒指導の素地を作っていきます。
	担当	心の教育プロジェクト
	人間関係力	○学年チーム体制で一部教科担任制により児童の状況の共有を学年研究会で積極的に話題にしていくことで、多面的な見方とらえ方を共有して児童理解を深めていきます。○人権教育に関する推進を行います。
	担当	たてわりプロジェクト
	健やかな体	○年間通した朝会での姿勢や歩き方などの継続して体感を鍛えます。
	担当	人間関係力プロジェクト
	特別支援教育	○保健室や用務員室や図書室や学習室など、子どもが心の隙間を埋めるための場所を常に気にかけて、子ども理解の幅を広げます。○教職員としての児童理解とともに、ほかの連携機関とかかわりなどを積極的に活用し、一人で抱え込まない多面的な解決方法で進めます。○登校しづらいや不登校の児童への寄り添いを一層高めます。
	担当	心の教育プロジェクト
安全管理	○危機管理意識を高め、リスクマネジメントが高まるような教職員同士の声かけを意識して行います。	
担当	保健安全部	
学校運営協議会	○学校アンケートの分析に対して、学校運営協議会の委員からいただいた指摘を学校報告会で速やかに報告し共有します。○学校運営協議会を管理職だけの参加にとどまらず、主幹教諭がかかわっていく組織の枠組みを作ります。	
担当	地域連携学校運営協議会	
自分づくり	○キャリアパスポートを生かして、4月の1年間を見通した期待感を継続する取組にしています。	
担当	心の教育プロジェクト	
いじめへの対応	○毎月行ういじめ対策協議会での情報共有を自分事としてとらえ、リスク・マネジメントの向上を図ります。	
担当	心の教育プロジェクト	
人材育成・組織運営	○人材育成指標を活用する機会を意識して設け、校長面談や学年研究会で自己評価や他者からの評価に活用します。	
担当	学力向上プロジェクト	